

「横浜市敬老特別乗車証制度のあり方に関する検討専門分科会」から 答申をいただきます

横浜市敬老特別乗車証（敬老パス）制度は、高齢者の社会参加を支援し、もって高齢者の福祉の増進を図ることを目的とした制度です。

一方、本制度については、少子・高齢化の進展により対象となる高齢者が増加していることに伴い、事業費が増加し、交通事業者・本市ともに負担が増えるなどの課題があります。

今後も中長期的な高齢化の進展により、さらなる事業費の増加が見込まれることなどから、持続可能な制度となるよう、見直しが必要です。

そこで、本制度のあり方について横浜市社会福祉審議会に諮問したところ、「横浜市敬老特別乗車証制度のあり方に関する検討専門分科会」が設置され、これまで全6回にわたって会議を開催し議論していただきました。

このたび、審議会（分科会）の答申をまとめていただきましたので、次のとおり山崎泰彦会長（神奈川県立保健福祉大学名誉教授）から答申を受領します。

1 日時

令和2年1月10日（金） 午後1時30分から（20分程度）

2 場所

横浜州市庁舎2階応接室（横浜市中区港町1-1）

3 出席者

【横浜市敬老特別乗車証制度のあり方に関する検討専門分科会】

会長 山崎 泰彦（神奈川県立保健福祉大学名誉教授）

【横浜市】

副市長 荒木田 百合 ほか

4 取材について

当日取材を希望される場合は、予め下記の連絡先にご連絡のうえ、開始時間までに会場にお越しください。

5 分科会の概要等について

分科会の概要等については、横浜市のウェブサイトに掲載しています。

<URL>

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/fukushi-kaigo/koreisha-kaigo/kaigoyobo-kenkoudukuri-ikigai/ikigai-shakaisanka/19k-pass-arikata01.html>

6 今後の予定

答申受領後、内容を整理したのち、横浜市として具体的に検討を進めます

お問合せ先

健康福祉局高齢健康福祉課担当課長

木野知 裕 Tel 045-671-2406

裏面あり

横浜市敬老特別乗車証制度のあり方に関する検討専門分科会 委員

(敬称略 50音順)

氏名		所属
会長	山崎 泰彦	神奈川県立保健福祉大学名誉教授
委員	岡 道子	横浜市町内会連合会委員
	鎌田 実	東京大学大学院新領域創成科学研究科教授
	烏田 次雄	横浜市老人クラブ連合会理事長
	田高 悦子	横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学教授
	田邊 裕子	横浜市社会福祉協議会地域活動部長
	八郷 大文	神奈川県バス協会理事長
	三上 章彦	横浜シーサイドライン代表取締役社長

横浜市敬老特別乗車証制度のあり方に関する検討専門分科会 開催経過（令和元年）

開催日		所属
第1回	6月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老特別乗車証制度の概要 ・制度の位置づけ ・現行制度の課題 ・他都市制度等の事例検討 ・検討の論点
第2回	7月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・現行制度の課題等 ・アンケート調査 ・利用者・交通事業者ヒアリング
第3回	10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・交通事業者ヒアリング ・アンケート調査 ・制度の役割と効果 ・三者負担の考え方 ・ICカード化 ・他都市の状況
第4回	11月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート結果（速報値） ・市民アンケート結果 ・三者負担の考え方 ・対象者 ・対象交通機関
第5回	11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・三者負担の考え方
第6回	12月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケート結果（最終） ・答申案について